

【実践2】《現代社会—生命倫理に関する問いを立ててみよう—》

☆ワーク1 「NHK for School」 「Q～子どものための哲学 良いこと、悪いことってなに？」を見て考える。(15分)

☆ワーク2 「いいこと、わるいこと」というテーマのもとで、ワーク1を参考にして、以下の《基本的な問い方》のどれかを用いて、学習プリント「科学技術の発達と生命」(教科書『改訂版 現代社会』(数研出版) p.26~33)の内容で、対話していくための具体的な問いを3つ立ててみよう。(15分)

《基本的な問い方》

(梶谷真司著『考えるとはどういうことか』(幻冬舎)による)

- ・ことばの意味を明確にする。「○○とは何か？」
- ・理由・根拠・目的を考える。「なぜ○○なのか？」
- ・具体的に考える。「具体的にどのようなことか？」
- ・反対の事例を考える。「別の可能性はないか？」
- ・関係を問う。「○○と▽▽はどのように関係しているか？」
- ・違いを問う。「○○と▽▽はどのように違うのか？」
- ・要約する。「要するにどういうことか？」
- ・懐疑。「本当にそうだろうか？」

「科学技術の発達と生命」で対話が大切・必要な「良いこと、悪いこと」

具体的な問い1
具体的な問い2
具体的な問い3

☆ワーク3 ワークシートを前後の席などで交換し、3つの具体的な問いのなかで、対話するのが最も大切または必要だと考える問いに○をつけ、選んだ理由を答えよう。(7分)

・問い1 ・問い2 ・問い3
(理由)

回答者 名前 ()

☆振り返り この授業で気づいたことや考えたことを具体的に挙げよう。

() 組 () 番 名前 ()
